

6月10日 「川渡地下道（愛称;湯のまちロード） 川渡中学校生徒たちによる清掃活動日記」

今年で
3年目



「 まずはゴミ掃除よ！こんな隅っこにまでゴミがたまっているわ」



「 『水洗いする前にゴミは回収しましょう』。 はーい！ 」



「 次は窓ガラスをふきふきっと、うーん どうしよう 上まで手が届かないなー 」



「 そーれー。 よーし水流したからブラシで吹いてねー 『OK!』 」



「 ゴシゴシ んーなかなか汚れ取れないなー 『どれどれ先生にまかしてみな』 」



はい こんなにきれいになりました。 みなさんお疲れさまでした。

あとがき

昨今は公共施設への落書きや、ゴミの不法投棄といったモラルの悪さが日増しに顕著になってきています。そんな中こういった活動は単なる公共施設をきれいにするという意味以上に、生徒達自身における心の教育という意味において、絶大な効果があると思われます。なぜなら、前述の不貞な行動はその大半が大人達によって引きおこされています。そういった貧しい心を持った大人にならないためには、このような活動こそが遠回りのようで一番の近道ではないかと思ったからです。

「急がば回れ」 久々にこのことわざを思い出した一日でした。

鳴子国道維持出張所 事務係長 佐藤 剛